

2025 年 12 月期 第 2 四半期(中間期) 決算説明会(2025 年 8 月 14 日開催)

<質疑応答の要約>

Q	北米事業の足元の状況は。
A	ランニング専門店のチャンネルでシェア No.1 を取るという目標に向けて順調に推移している。7月の月次売上高は、昨年比+0.3%となっているが、不採算店舗の縮小や EC における戦略的な商品の絞り込みによるもので、ランニング専門店を含むホールセールは、強く成長している。 関税については、従来最大 50 億円の影響を見込んでいたものの、早期出荷などの対策もあり、現時点では年間で 30 億円程度と見積もっている。
Q	中計 2026 を前倒しで達成する見込みとのことだが、改めて見直しをする予定はあるのか。
A	中計 2026 の見直しは行わず、2026 年2月に予定している 2025 年 12 月期通期決算発表の際に、2026 年の業績目標を開示する予定。 なお、中計 2026 における「GIE への変革」や「ブランド体験価値向上」「オペレーショナルエクセレンス」などの定性的な目標については、継続的に取り組んでいく。
Q	OneASICS を含むデジタル戦略の進捗の手ごたえは。 また今後の課題についてどう考えるか。
A	OneASICS 会員は順調に獲得が進み、2025 年 6 月末にグローバルで 2,000 万人の大台を突破した。2026 年末の 3,000 万人突破に向けて更に会員基盤を拡大しつつ、これを活用して、パーソナライズされた商品やサービスの情報の提案力を強化したい。
Q	P.RUN の新商品について教えてほしい。
A	SPEED モデルにおいては、7 月に METASPEED EDGE TOKYO、METASPEED SKY TOKYO、8 月に METASPEED RAY を発売。更に BOUNCE モデルにおいて、新たに SONICBLAST 及び MEGABLAST を 9 月に発売予定。より一層ランナーのニーズに応えるべくラインナップは充実させていく。
Q	資本コストについて、株価のボラティリティを下げるための取組みの進捗は。
A	資本コストを下げるためには、業績予想の精緻化に加えて、株主構成の最適化が重要と認識。特に機関投資家と個人投資家のバランスが重要。 個人投資家向け施策を拡充しており、アシックスについて深く理解をいただけるファン株主づくりを行っていく。